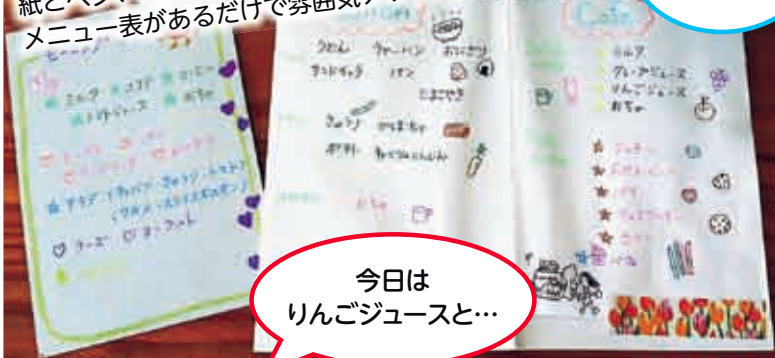


「ほやねさん」とは… つらいときや悩んだとき、そっと寄り添って「ほやね、ほやね」と話を聞いて、心を支えてくれる人

★**おうちカフェ オープン**★  
紙とペン、お気に入りのシールで作ったメニュー表。  
メニュー表があるだけで雰囲気アップ↑↑↑



ご注文は  
お決まり  
ですか？

今日は  
りんごジュースと…



コロナ禍で安心して外出できない日々、ささやかにおうち時間を楽しんでいます。注文が好きなものばかりで困るなあというときは、「只今売り切れ」ということにしています(笑)。  
ペンネーム ひろちゃん

ほやねさんフォトエッセイ募集

問 まちづくり推進課 (内線313)

新型コロナウイルスに負けない我が家のアイデアや、思わず癒される、元気をもらえる…。そんな写真にタイトル・エピソード・ペンネーム・ご連絡先を添えて、直接または郵送、Eメールでまちづくり推進課へご提出ください。

■郵送先 〒509-5192(住所不要) ■Eメール ✉machisui@city.toki.lg.jp

※写真をご投稿いただく際には、肖像権など、プライバシーには十分に配慮してください。 ※作品は返却しません。

ようこそ手話の世界へ

福祉課 (内線217)



かんたん手話講座 **手話で話そう!**

警察署は



おでこの前に親指・人差し指を出す

5指を広げて下に向ける

**【災害】**  
ろう者が生活で困る  
こと

近年甚大な被害を起こす災害が各地で頻繁に起きています。リアルタイムで情報を得ることのできないろう者は、今自分がおかれている状況が理解できず避難が遅れ、危険な状態に陥ることになります。最悪な事態を未然に防ぐためには、近隣の方々の助けがあるとともに心強いです。

東日本大震災のとき、避難指示の放送を知らずに避難しないまま逃げ遅れた人がいた一方で、近隣の方の声掛けで一緒に避難して助かった人もいました。

どこですか



人差し指を左右に振る

首を傾け、眉毛を上げる

しかし、無事避難することができたろう者の中でも、避難所生活が長引く中で、コミュニケーションをとることができず、孤独になり精神的ダメージを受ける方も多くいたそうです。

普段から日常的なコミュニケーションの積み重ねて、地域の一員となることが大切であり、誰もが被災者で大変なときだからこそ、お互いの励まし合いやコミュニケーションが重要です。挨拶など簡単な手話で話しかけてもらうことでろう者はとても安心します。